

**長谷川鉄工**

代表取締役  
社長 小野 良二



「成長」から「進化」へ  
を掲げ、社業発展を目指し  
てきました。単年で進化を  
実感することは難しく、  
先々で、一定期間の過去を  
振り返った時、過去に成し  
得なかつたことを今はでき  
るようになつたと自覚する  
ことがあります。その時に  
機を製造するメーカーとし  
て伝統を重ん  
じるあまり、  
営業面では技術  
の訴求一辺  
倒に陥りやす  
い傾向にあり  
ました。これ  
を改め、お客  
さまのニーズやウォンツに応  
じるためのヒアリングとコ  
ンサルティングの精度を高  
めることで、弊社が協力する  
ことでの進化と言えます。弊  
社は純国産レシプロ式冷凍  
機を製造するメーカーとして  
成長を感じるものだと  
心得ます。現在は成長から  
進化に向かう途中の立ち位  
置と言えるでしょう。

弊社のエンジニアリング  
による動きに集中してしま  
した。意識改革が徐々に浸透  
し、戦略的な集団になった  
という手応えを感じます。

用頂いた大手食品・冷蔵倉  
庫業者様や製氷会社  
さまが新築される低温物流倉  
庫にご採用頂きました。  
弊社のエンジニアリング  
事業の活性化を図ってきま  
した。昨年の成果の一例で  
は「N-iCRES」を初採  
用頂いた大手食品・冷蔵倉  
庫業者様や製氷会社

## プレゼン力磨き、戦略的集団

直近3年間で技術開発も  
進み、NH<sub>3</sub>/CO<sub>2</sub>冷却  
システム「N-iCRES(ニ  
クレス)」、高効率陽圧除温  
空調システム「DEMS(デ  
ィームス)」、自然対流&ふ  
く射冷却システム「ゆらぎ」  
を改め、お客

さまに冷凍機を納入する  
際、メンテナンスを考慮  
し、弊社の技術者を定期  
的に派遣します。また「ゆらぎ」  
を改良し進化させ  
ました。また新システム「Yuri  
c argo(ユリカーゴ)」を

年に当たります。2021  
年には法人設立100周年  
を控えます。従来以上に高  
品質・高付加価値の冷凍機  
とアプリの提供に注力し、  
お客様からの信用、信頼を  
得ていく所存です。

新年は弊社創業110周  
年で好評を得ています。

弊社は新築される低温物流倉  
庫にてサービスを実施していま  
す。お客様側の技術者育成  
に弊社が協力することで、  
災害発生時にお客様は自社  
の社員で冷凍設備の復旧が  
可能となり、BCPの観点  
からも付加価値あるサービ  
スとなっております。弊社は  
海外の代理店にもとのサービ  
スで好評を得ています。